

【白鷹町】の部活動改革の取組み

自治体の現状と課題

生徒数の減少については、現在は少しずつという状況ではあるが、令和8年度になると293人。令和12年度では、222人にまで減少する見込みである。

町教育委員会に総括コーディネーターを置き、令和6年8月より白鷹Jrクラブとして剣道、柔道、サッカー、水泳、令和7年8月からは野球、バレー、ソフトテニス、卓球、吹奏楽を加えて実証事業を行っている。他に部活動種目にある陸上、バスケット、ソフトボール、美術については、町の地域クラブとしての設置は考えていない。

スポーツ庁からの委託による予算と町予算の確保のもと進めてきているが、指導者謝金、輸送（運搬）支援、施設使用減免など財政面での大きな課題がある。また、教育委員会、財政係だけでなく、各課、あるいは近隣市町で地域クラブを支えていく仕組みづくりをしていく必要がある。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	1校	全生徒数	320人
域内の部活動数	15部	実施した地域クラブ数	9クラブ
全体の指導者数	30人	全体の運営スタッフ数	27人
主な運営団体	教育委員会		
主な種目	剣道、柔道、サッカー、水泳、野球、バレーボール、ソフトテニス、卓球、吹奏楽		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：3人/クラブ 2年：7人/クラブ 1年：8人/クラブ
参加会費	種目による	主な活動場所	白鷹中学校

地域展開関連の取組・成果

○総括コーディネーターを配置したことにより、関係団体、新規クラブ、他市町クラブ関係者との情報交換を重ね、会議運営・連絡調整等を円滑に行うことができた。

○昨年度、4団体のクラブ実証期間中に中学校で他種目の部活動顧問の担当調整を行い、部活動出勤回数が減り、働き方改革につながった。

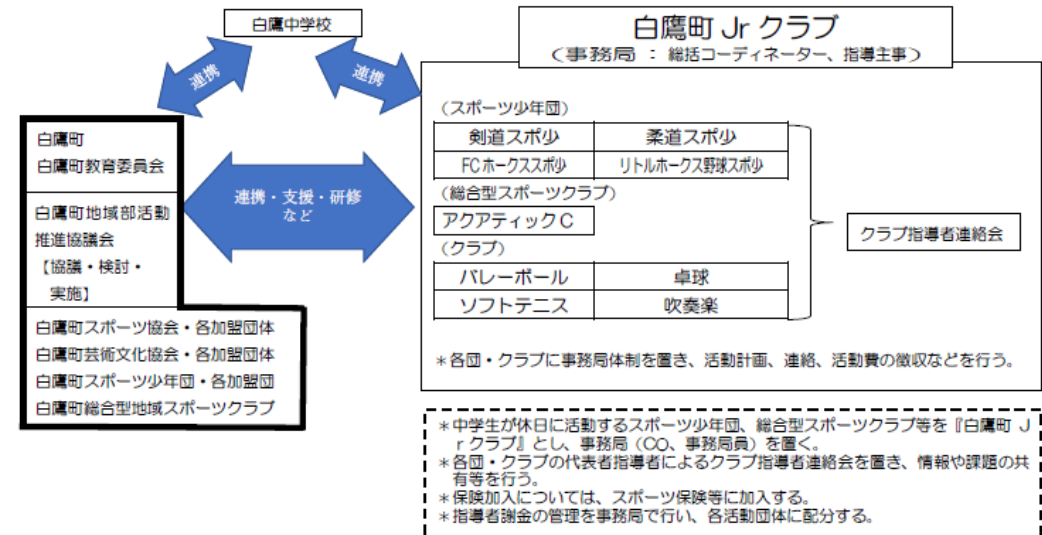
○昨年度に出された生徒の輸送の課題については、クラブでのスクールバスの利用を可（回数制限有）として進めていることで、保護者の送迎負担は軽減されている。

○校舎の構造上、社会教育玄関からの出入りのみで活動ができないことから、学校側の理解のもと、活動に必要な場所の鍵の使用ができるようにした。

○実証事業期間という捉え方で、ナイター使用料の減免等の試験的にを行い、町としての来年度以降の検討材料にできた。

運営体制図

【R7運営体制図】



【白鷹町】の部活動改革の取組み

活 動 の 様 子

